

2020年2月26日

環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」 投資家部門の金賞(環境大臣賞)を受賞

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、環境省が ESG 金融の普及・拡大に向けて創設した「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」において、投資家部門の金賞(環境大臣賞)を受賞しましたのでお知らせします。

「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」は、ESG 金融やグリーンプロジェクトに関して積極的に取り組み、環境・社会に優れたインパクトを与えた投資家・金融機関等、また環境関連の重要な機会とリスクを企業価値向上に向け経営戦略に取り込み、企業価値と環境へインパクトを生み出している企業の取組を評価・表彰し社会で共有することを目的として、今年度、環境省が創設しました。

本アワードでは、以下の5部門で表彰が行われ、今回、当社は ESG 要素に考慮した投資(ESG 投資)を積極的に行っている機関・団体に贈られる機関投資家部門において、最優秀賞である金賞(環境大臣賞)を受賞しました。

・投資家部門(第一生命 金賞受賞)

- ・融資部門
- ・金融サービス部門
- ・ボンド部門
- ・環境サステナブル企画部門



一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

【投資家部門金賞選定理由】

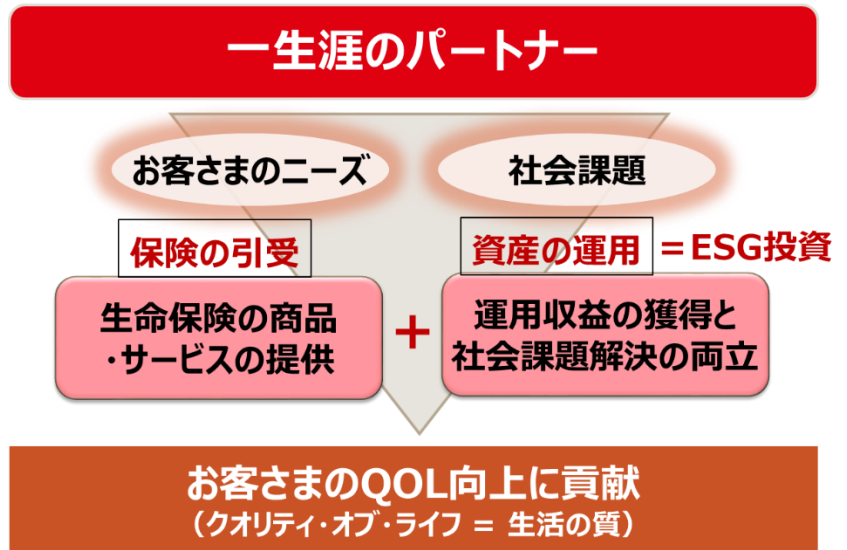
- 気候変動を重点テーマとして掲げ、再生可能エネルギー関連事業への投資融資やグリーンボンド等に積極的に取り組んでいる点
- 炭素税の影響分析や座礁資産の影響分析に基づく信用ランク設定を行うなど、気候関連情報の体系的な統合評価手法を構築している点
- 上記の取り組みに加え、これまで業界における ESG 金融の普及に資する活動を行ってきた点

第一生命グループは1902年の創業以来、「一生涯のパートナー」をミッションとして掲げています。

お客様のニーズや社会課題に真摯に向き合い、商品・サービスを通じてお客様の一生涯に寄り添うと共に、お客さまからお預かりした保険料の運用においても、お客様のQOL向上に貢献することが「一生涯のパートナー」としての使命だと認識しています。

このように、生命保険の固有業務である「保険の引受」と「資産の運用」の両輪でお客様ニーズに応え、社会の課題解決に貢献することが、「一生涯のパートナー」として重要であると考えており、こうした想いでESG投資を積極的に推進しています。

第一生命グループのミッション（存在意義）



第一生命は、日本全国の約1,000万名のお客さまからお預かりした約36兆円の資金を、幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、多様なステークホルダーを意識した資産運用を行う必要があると認識しており、2015年のPRI署名以降、ESG投資の取組みを拡大させ、継続的なレベルアップに取り組んでいます。

また、ESG投資を拡大・進化させることに加え、日本におけるESG金融の発展に貢献することも「ユニバーサル・オーナー」としての使命と認識しており、普及促進活動にも積極的に取り組んでいます。

<第一生命のこれまでのESG投資の取組み>



●ESG投資に関する当社の取組実績については、責任活動投資報告をご覧ください。

2019年 責任投資活動報告

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/ri-report.html>